No.

不景氣の造船所
但し閉鎖は不可

長崎商業會議所にては日支通商關係準備を始め軍縮影響問題其他に就き夫々委員を設け協議中にあるが五日午後軍縮委員會を開き斯波三菱長崎造船所長より同所縮小に關し大要左の如き説明があつた

三菱長崎造船所は之迄一萬八千人ばかりの職工を使用して居たが今回の建艦休止の爲約四千人を淘汰した而して一ヶ年の給料支拂高約百萬圓其他に於ける買物費一ヶ月二百五十萬圓内外にて此内長崎市内の關係年々七百萬圓に達して居たが今回縮小に依り給料七十八萬圓毎年の購入費百八十萬圓位に減少すべきを以て結局一ヶ月には約百萬圓内外の減額となるのであらう而して主力艦建造中止の爲事業上には大體に於ける七割減の影響にして今後商船の建造又は機械製作等に依り之を行ふの外なしとするも機械は會社の設備上到底不可能にして商船は郵商船會社等にて年々二三隻宛の新造位に過ぎざれは却々四十三年以後擴張したる會社の設備に對し引合ふ話でないされはとて大型商船建造せんには斯る大設備にては却々に割高となつて價格上他の競爭には敗ける如きは相違ない併し此儘閉鎖するに至るは國策上無益探るべき所にあらねば此縮少が如何に長崎に影響するかは大いに研究すべき問題であらうと云々

佐世保工廠職工
滿期退去式
百卅三名解雇

本年初めて舉行せる佐世保海軍工廠の五十五歳以上の年齢滿期職工退去式は已報の如く一日午前十時工廠本部に於て河田工廠長を始め關係工廠係員參列の上舉行された先づ河田工廠長一場の訓示をなし滿期職工總代組長大橋曹五郎氏の答辭で式を終り記念撮影後同門外まで一同見送りを爲し門前には多數職工知人家族の出迎へがあつた當日退去した職工數は造兵部二十八名造船部五十五名造機部三十七名計部十三名合計百三十三名である

佐世保海軍
家族共勵會現況

佐世保上町なる海軍下士卒家族共勵會は海軍下士卒の家族に生業を授くる目的を以て明治三十七年十一月に財團法人組織にて創立せるものにて會長は代々の鎭守府司令長官夫人を推戴し會長の諮問に應ずる爲め評議員を定め外に理事四名あり之が事務を取扱つて居る工場はミシン部、仕上部、メリヤス部、帆布部の四部に區分しミシン部は鎭守府下士官兵服の裁縫を引受け仕上部は其鈕やマークを附けたりしメリヤス部は下士官兵の下衣を製造し帆布部は海軍需品の釣床ひやハンモック等の縫製をなす所にて現今職員指導の下に約二百五十名

大分縣の職工教養

大分縣工場課にては職工教養の目的にて左記日割に於て協調會沿革の映寫をなす由

△四月三日大分市富士紡大分工場△四五日同片倉製糸會社△六日同大和紡製糸所△七日大野郡井田村豐國製糸會社△八日同郡牧口村同會社△九日大分郡鶴崎町同會社△十一日佐賀關町佐賀關製錬所△十二日北海部郡背江村大分セメント會社△十三日同郡下浦村機セメント會社△十四日宇佐郡北馬城村片倉製糸會社△十五日西國東郡高田町豐中製糸會社△十六日宇佐郡柳浦村同會社△十七日下毛郡豐田村同會社△十八日同村富士紡中津工場

職業紹介所を頼って
福岡に出る男女の群
一月以來の求職者七百人
女中希望者は一人も無い

華やかな都會生活に憧れる靑年男女子の群が毎年四月から五月にかけて田舍から都會へと流れ込む數は東京を始め大都市には夥からぬものである本年一月福岡市に職業紹介所が開設されて彼是三ヶ月を出でやうとしてゐる今日此の頃は此處でも毎日平均二十人宛詰めかけて求職に血眼となつてゐるが何しろ求人側と求職者側との要求が相容れない爲めに求職者の方が過剩してゐるがそれは紹介所にて職業紹介の前に本人の身許保證人等を要するので一日の糊口に窮する者が少く從つて求職の方面も一番多いのは商店等の事務員で勞働者は比較的少く殊に著しい現象は女子求職者に於て女中など希望する者は殆んどなく女事務員とか或は内職で一般家庭に於ても要求されてゐる女中の拂底は此處で明かに裏書されてゐる試みに一月以來三月迄の求職者を擧ぐれは合計七百人で中女子は僅か五十人で求人は八百八十人中男子四百五十人女子四百三十人を示し男子の方は殆んど都合よく就職してゐるが女子の方は三百八十人も要求人員に不足してゐるので女子一人に對しては二十人位で引張凧して居る狀態で女中の供給が想外に要求されるのも此處で始めて首肯かれるのであるが夫等の人々の多くは殆んど熊本鹿兒島長崎等の人々が占めて居り人事の更迭期さへの修業期にある各學校の職業紹介所も目の廻るやうな忙しさであらう

勞資協調時代來る
獨逸勞働者の高唱する標語
英國の生産と物價政策
來福した松方幸次郎氏談

英國 の經濟學は戰後英國の陥りたる慘澹たる悲境を脱出する方法として『生産の増加と物價の低減』を主張しつゝあつたが同國勞働者首領達が此學者の主張に共鳴するやうになつて形勢の一變化を來した其一例を擧ぐれは坑夫勞働者首領フランクホッヂス氏は『我等は今や全世界の顧客を惹くに足るべき手段にて石炭の販賣をせねば立ち行かぬ』と云ふ點に逢着した、即ち坑夫の賃銀を減ずることなくするには彼等をして生産増加に努力せしめねはならぬ斯くて坑夫を節約し以て石炭の價格を廉にして世界の顧客を吸收せざれは勞資共倒れとなるであらう』斯やうにして學者の

主張 は實際家の共鳴となり生産増加と價格低減とは英國に於て漸次に實現せられ英國の石炭産額は從來に倍加し其採掘費は頓に三十志から半減された近頃英炭の輸出著しく旺盛になり一時印度までも手を伸はしたる日本炭が次第々々に驅逐せられつゝあるは此英國の『生産増加と價格低減』に打負かされたのである、我國では勞資の紛爭絶へ間がないが英國ではそんな呑氣な態度がない元來勞資關係は幾多の變化を示してる即ち戰前には資本家が勞働者を威壓したが戰時中は勞働者が資本家を威壓したと云ふ風で互に

抗爭 を續けて來たが戰爭が休止されると舞臺は一變して勞資互に手を引いて共同の敵に當らねはならぬことになつた、即ち顧客を失はぬやう否顧客をいくらでも招くから廉價で生産品を賣らねは勞資共倒れとなる、そこで勞資の協調が必要となり生産の増加と價格の低減が行はれ英國は辛うじて戰後の慘澹たる悲境より脱出することを得たのである然るに我國は果して如何勞資の抗爭は劇しく生産能率は低下し生産も減少し價格は騰貴する斯の如くにして世界の競爭場裡から次第々々

驅逐 されて了ふ、獨逸に至りては戰敗の慘たる狀況殆ど見るに忍びずであるが併し國民は擧つて國運の回復に一生懸命である獨逸勞働者は『働けよ働いて自らを救へよ』と高唱し其意氣のなか〳〵盛んなものがある獨逸製品が安價で世界の市場を風靡しつゝあるのは獨逸國民の意氣精神が其生産品の個々に籠つて居る程に精良で且低廉であるからである工業家が工業縮小に際して失業者を出さず賃銀を下げずして其難局を切抜けんとすれは能率の増進即ち生産の増加に俟つの外なしてそれには勞資協調して英國人の如く將た獨逸人の如くに壯なる意氣を以て一生懸命に活動しなくてはならぬ

我國 の現狀が英獨二國と大いに異る無自覺無反省なのには眞に遺憾に堪へぬ次第である

（中）